

教育目標「かしこく たくましく あたたかく」【一人一人が学ぶ喜びを実感し、笑顔あふれる学校】



せなみっこ

第1号
令和4年4月8日
村上市立
瀬波小学校



瀬波小HP

「郷育のまち・村上～郷に育ち・郷を育て・郷が育てる～」
—かけがえのない子どもたちの今と未来のために—

校長 若月 隆雄

春爛漫の4月7日に笑顔と拍手に包まれ、入学式が行われました。41人の1年生を迎え、瀬波小学校235人の新たな学校生活が始まりました。

新学期は、桜や梅など春の花が咲き薫る季節。春といえば桜。日本で桜を眺める風習が見られるようになったのは、今から1,000年以上も前。桜の開花は農民たちにとって稲作の始まりを告げる暦の目安であり、農民が豊作を祈願して宴を開いたのが始まりだとも言われています。今も昔も、桜は始まりを告げるかけがえのない特別な花だといえます。

「桜は花に頭(あら)われる」

山桜のように、他の雑木に交って目立たなかった桜の木も、花が咲いて初めて桜の木だと気付くことがあります。ふだんは様々な人々に紛れ目立たない人が、何らかの機会に、優れた才能を発揮するということわざです。

子どもたち一人一人は、今は気付かない、これから発揮される優れた才能や様々な可能性を必ずもっています。「桜は花に頭(あら)われる」ように、子どもたちは、これから何かのきっかけや出会い、学びや体験などの機会により、優れた才能に気付き、開花し、大きく成長していくのです。

この1年間、様々な学習や体験をとおして「桜は花に頭(あら)われる」ように一人一人の子どもたちの良さが、桜の花が咲くように開花し、輝くことができるように、職員一同、指導や支援に精一杯あたりたいと思います。

ふるさとを愛し、未来を切り拓く、かけがえのない瀬波小学校の子どもたち。その子どもたちの今と未来のために、保護者の皆様や地域の皆様から温かく見守っていただき、ご理解とご協力を賜りますよう、今年度もよろしくお願いたします。

